ンネのメダルの図があり，特にリンネの著作のほとんどすべてのタイトルページが写真示されていることは重宝である．（木村陽二郎）

□ **Temperate Bamboo Quarterly 2 (1－2)** 60pp. 1995.

この雑誌については山崎 敬氏がさきに紹介したが，このたび最新号（2巻1－2合併号）を手にしたのでもう一度紹介する．本誌は学術誌というよりは同好会誌あるいは同業誌で，日本なら山草会誌に近い性格のものだろう．だから内容は至極肩のこらないくだけた文章で，分類，利用，栽培，園芸，観察記録，文献紹介など多岐にわたって楽しげに書かれている．レターフォーラムなどは，頁のすき間を縫って行ったり戻ったりしながら編集者とのトークが気楽に続けられている．年会のスケジュールを見ても，ピクニック気分である．日本では会誌というと堅苦しくなりがちだが，これはむしろパソコン通信のハードコピーといったところである．見出しを拾うと，食物としてのタケノコ，（テネシーでの）各種タケノコ出芽の観察，竹と修景デザイン，竹利用の新展望，耐候性レポート，ジョージア州サバンナの竹植物園の紹介，アメリカで入手可能な種のリストとその形質……などである．竹や笹の研究・利用・栽培については，わが国には多くのベテランがいるので，情報提供したら喜ばれるだろう．背表紙の写真には竹藪の中の竹垣にはさまれた道に，竹箒と竹杖を手にした翁媼（媼の方がいばっている）が嫁と孫を遠景に写っているが，これはエジソンが白熱電球のフィラメントの探索に世界へ派遣した三人の一人，J. Ricalton の日本での作品であるそうだ．連絡先はどこにも書いてない．あまりに気軽な会なので必要ないのだろう．山崎氏の文から転記する．Mr. Adam Turtle, 30 Myers Rd., Summertown, Tenn. 38483-9768 USA. 山崎氏の紹介文は「誰か翻訳してくれ」と付記して和文のまま載せてある．（金井弘夫）